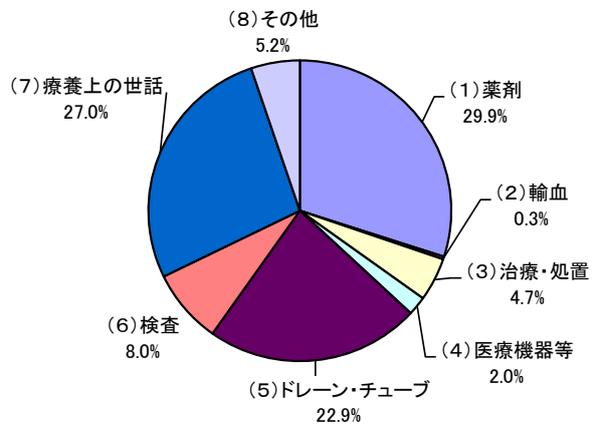


●平成27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)
患者さんに影響があった、あるいはその可能性があったインシデント

概要		
項目	件数	%
(1)薬剤 (うち与薬に関するもの)	913 (755)	29.9 (24.8)
(2)輸血	9	0.3
(3)治療・処置	142	4.7
(4)医療機器等	62	2.0
(5)ドレーン・チューブ	697	22.9
(6)検査	244	8.0
(7)療養上の世話 (うち転倒・転落)	823 (511)	27.0 (16.8)
(8)その他	159	5.2
合計	3049	100.0



平成27年度、職員から3049件のインシデント報告がありました。薬剤に関するものが約3割、ドレーン・チューブ類に関するものが約2.5割、と前年度とほぼ同様の結果でしたが、転倒・転落が2割弱と若干減少しました。

重要な事例については再発防止のため、関連部署や関連する委員会などと、原因究明や対策について検討しています。

●お薬を飲まれるときのご注意

包装シートは一錠ずつ小さく切り離さないで、その都度、お薬だけを取り出して服用してください。誤飲防止のため、一錠ずつ切り離せないような包装シートに変更しています。

おくすりの

●誤って包装シートを飲んでしまうと大変なことに!

包装シートが食道や胃腸などに突き刺さり、穴をあけるなど身体に大きなダメージを引き起こします。

[危害部位別件数 (独立行政法人国民生活センター調べ) 2000～2009年度]

- 口など **9件**
- のど・鼻など **16件**
- 食道 **37件**
- 腹部 **22件**

食道に突き刺さった包装シート (内視鏡写真)※

●お薬は自己判断で中止せず、余る場合は医師や薬剤師に相談しましょう。

お薬は特別な指示がある場合を除き、処方された日数分を服用するのが原則です。自己判断で飲むのを中止せず、処方されたお薬は飲みきりましょう。

それでも飲み忘れや受診の間隔によって、お薬が余ってくる場合があります。その時は、遠慮せずお薬をもらっている病院・診療所・薬局などの医師、薬剤師にご相談ください。

●医療安全標語:テーマ「確認行為の徹底」

11月25日の医療安全の日を含む日曜から土曜までの1週間は医療安全推進週間です。平成27年度は、「確認行為の徹底」をテーマに医療安全標語に取り組みました。

院内34部署から医療安全標語が投稿され、来院された方々の人気投票などから優秀作品を選びました。

与薬に必要な5つの正確さ(5R)				
正しい患者	Right patient			
正しい薬剤	Right drug			
正しい用量	Right dose			
正しい投与経路	Right route			
正しい投与時間	Right time			

緩和ケア
病棟

5R
(五郎丸)
5 R o u m a r u

● 指さして
● 集中! 確認!

患者さん・病院を利用される
皆様からの投票による優秀賞

宝塚市立病院
TAKARAZUKA CITY HOSPITAL

確認作業
目視・
指差し・
平常心

栄養管理室

事業管理者賞

宝塚市立病院
TAKARAZUKA CITY HOSPITAL

5階東病棟

声に出し
目で見て
手で見て
2人で確認

病院長賞

宝塚市立病院
TAKARAZUKA CITY HOSPITAL

入院支援
センター

目で「よし」
指で「よし」
声で「よし」

病院長賞

宝塚市立病院
TAKARAZUKA CITY HOSPITAL

医療安全は
さきがけ
呼びかけ
心かけ

清掃担当

医療安全対策室長賞